メッセージ　7

あわれみを受ける尊い栄光の器、麦粒、ぶどうの木の枝

聖書：ローマ 9:21，23．使徒 9:15．

Ⅱコリント 4:7．ヨハネ 12:24．15:1，4-5，7

Ⅰ．キリストにある信者は、あわれみを受ける尊い栄光の器です。わたしたちは容器であり、あわれみ、尊さ、栄光としてのキリストを内容としています――ローマ 9:21，23：

A．神が人を創造した目的は、人をご自身の器、すなわち、ご自身の土の器に造り、命としてのキリストを内容としキリストで満たし、キリストのからだを建造して、神の大きな団体の器である新エルサレムを究極的に完成して、神を表現させるということです――創 2:7．使徒 9:15．ローマ 9:21，23．Ⅱコリント 4:7．Ⅱテモテ 2:20-21．マタイ 25:2-4，8-9．ゼカリヤ 4:11-14．参照、啓 3:18。

B．パウロの十四の書簡はすべて、「開いた器」という言葉に要約することができます：

1．神がどれほどご自身をわたしたちの中へと分与することができるかは、わたしたちがどれほど開くかにかかっています。神は、わたしたちがただ彼を愛し、彼に対して開き続けることだけを願っています――列王下 4:1-7．マタイ 5:3．ヨハネ 1:16．イザヤ 57:15．66:1-2。

2．衰退は自己満足から始まります。進歩は飢え渇きから始まります――申 4:25．ルカ 1:53．ピリピ 1:25．啓 3:16-18。

C．わたしたちがあわれみの器として創造されたのは、あわれみの神としてのキリストを内容とするためです――ローマ 9:11-13，16，20-21，23．哀 3:21-23．ルカ 1:78-79：

1．神のあわれみは、神の属性のうちで最も遠くまで到達するものであって、わたしたちをみじめな地位から、彼の恵みと愛にふさわしい状態へと救います――エペソ 2:1-4．ヘブル 4:16。

2．わたしたちは神のあわれみのゆえに、他の人たちが福音に応答しなかったときに、この福音に応答し、他の人たちが命としてのキリストについての言葉を受け入れるのを拒絶したときに、この言葉を受け入れ、他の人たちが主の回復の道から後ずさりしたときに、この道を取りました――詩歌 234 番 3 節。

3．「あわれみ」は、わたしたちのみじめな状態によって動機づけられる神の外側の行ないを指しています。「慈しみ」は、神の愛の本質から生じる彼の内側の愛情を指しています――ローマ 9:15．マタイ 9:36。

4．わたしたちは毎朝、慈しみ深い方としてのキリストと接触しなければなりません。それは、わたしたちが王国の実際の中を生きて、他の人たちにあわれみ深くあり、他の人たちを裁かないためです――哀 3:21-23．マタイ 5:7．7:1。

D．わたしたちが創造されたのは、尊い器となって、尊い神としてのキリストを内容とするためです。尊い器は予防注射する者であり、他の人たちに予防注射をして、召会の衰退に抵抗させます――Ⅱテモテ 2:20-22．士 9:9．サムエル上 2:30：

1．予防注射する者は教える者、キリスト・イエスの良い奉仕者であり、命の言葉で

養われる者であり、日常生活の中で、召会生活のために自分の霊を活用してキリストを生きる者です――Ⅱテモテ 2:2．1:13-14．Ⅰテモテ 4:6-7．6:20。

２．予防注射する者は兵士であり、異議を唱える者の異なる教えに対して戦い、使徒たちの務めにしたがって神のエコノミーを遂行して、命に満ちて命の中で王として支配することによって、死、すなわち、神の最後の敵に対して戦います――Ⅱテモテ 2:3-4．Ⅰテモテ 1:18．ローマ 8:6，11．5:17。

３．予防注射する者は競技者であり、正常な召会生活をし、避け所としてのキリストの中へと逃れ、純粋な心で主を呼び求める人たちと共に、義、信仰、愛、平和を追い求めます――Ⅱテモテ 2:5．ヘブル 6:18-20．Ⅱテモテ 2:22。

４．予防注射する者は農夫であり、すべてに適合する命によって神と共に働いて、命の種を人々の中へとまき、神の健康な言によって、命の霊をもって彼らに水を注ぎます――Ⅱテモテ 2:6．Ⅰコリント 3:6，9．Ⅱコリント 6:1 前半．ルカ 8:11．ヨハネ 7:38．6:63．Ⅱコリント 3:6。

５．予防接種する者は働き人であり、(大工のように) 真理の言を真っすぐに裁断し、神の言葉の各部分を正しく、また正確に、真っすぐに、曲解することなく明らかにします。真理の言が正しく開かれる必要があります。それは暗くされた人々を照らし、毒に対して予防接種し、死を飲み尽くし、そらされた信者たちを正しい路線に連れ戻すためです――Ⅱテモテ 2:15．参照、使徒 26:18．詩 119:130，133。

Ｅ．わたしたちは栄光の器であり、栄光の神としてのキリストを内容とします：

１．栄光とは、表現され、大きく表現された神ご自身です――エレミヤ 2:11．使徒 7:2．エペソ 1:17．Ⅰコリント 2:8．Ⅰペテロ 4:14．コロサイ 2:9。

２．わたしたちはこの宝、すなわち、栄光の神としてのキリストに、土の器であるわたしたちの内側に住んでいただいています（Ⅱコリント 4:7）。わたしたちに内住する「この宝」は、「イエス・キリストの御顔」（6 節）、キリストの臨在、キリストのパースンです（2:10――「御前」はパースンを指します）。

３．わたしたちは心を主に向けるとき、わたしたちの霊の中でキリストの臨在としての霊なる主を見つめ、「栄光から栄光へ、……徐々に造り変えられていきますが、それはまさに主なる霊からです」――3:16-18。

４．主の栄光を見つめることは、主ご自身を見ることです。主の栄光を反映することは、他の人たちがわたしたちを通して彼を見ることができるようにすることです――イザヤ 60:1，5。

Ⅱ．キリストにある信者は麦粒です――ヨハネ 12:24：

Ａ．キリストの死と復活を通して生み出された多くの麦粒は、一つパン、すなわち、キリストのからだを形成するためです。麦粒は砕かれ、油とミングリングされ、かまどで焼かれて、共にブレンディングされて一つパンとなります。このパンは、穀物のささげ物によって表徴されています――Ⅰコリント 10:17．レビ 2:4-5。

Ｂ．主は一粒の麦として地に落ちて、死を通してご自身の魂の命を失いました。それは、彼が復活の中でご自身の永遠の命という火を「多くの麦粒」に対して解き放つためでした。わたしたちは多くの麦粒として、死を通して自分の魂の命を失わなけ

ればなりません。それは、わたしたちが復活の中で永遠の命という火を享受し、他の人たちに解き放つためです――ヨハネ 12:24-26．ルカ 12:49-50．Ⅰコリント 15:31，36．Ⅱコリント 4:12。

C．麦粒が地に落ちて死ぬように、わたしたちの外なる人は砕かれ、消耗されます。それによってわたしたちの内なる人は日ごとに新しくされることができます――16，10-11 節．テトス 3:5．エペソ 4:23．5:26。

D．キリストのからだを建造するために霊的なクリスチャンは、毎日三つのものを「読」まなければなりません。すなわち、彼は聖書を読む必要があります。彼は彼の内側の感覚を読む必要があります。彼は彼の環境と状況、すなわち、彼の周りの人、事、物を読む必要があります――ローマ 8:6．参照、箴 16:9。

E．わたしたちは、他の人たちが変わるように祈り、望むかもしれませんが、このように祈れば祈るほど、何も変わらないことがますますはっきりします。これは、神が創造した環境であって、わたしたちを神の御子のかたちに同形化し、神の恵みと力を現します――ローマ 8:28-29．参照、6:3-4．列王上 7:17，20-22。

F．わたしたちは活動する霊と協力して、神がわたしたちのために案配した環境を受け入れるべきです――ピリピ 4:12．エペソ 3:1．4:1．6:20．Ⅰコリント 7:24。

G．わたしたちは神に不平を言うかもしれませんが、わたしたちの不平は最上の祈り、神に対する最も喜ばしい祈りとなるかもしれません。わたしたちが不平を言っているとき、神は歓喜しています。なぜなら、彼はすべてを共に働かせて益とならせているからです。それは、わたしたちが彼の御子のかたちに同形化されるためです――参照、詩第 102 篇のタイトル。

Ⅲ．キリストにある信者はぶどうの木の枝です――ヨハネ 15:1，4-5：

A．ぶどうの木とその枝、すなわち、キリストとキリストにある信者たちは、神のエコノミーにおける三一の神の有機体であって、彼の豊富をもって成長し、彼の神聖な命を表現します――1-5 節。

B．ぶどうの木としてのキリストから離れて、わたしたちは無であり、何も持っておらず、何も行なうことができません。こういうわけで、わたしたちは彼の中に住み、彼の中に居続け、とどまり、居住する必要があります。そしてわたしたちが何であるかによって、あるいはわたしたちが行なうことができることによって生きるのではなく、不朽の命、すなわちキリストご自身によって生きます――14:6 前半．Ⅱコリント 5:4。

C．キリストの中に住むことは、彼の愛の中に住むことです。それはわたしたちが彼を愛し、互いに愛し合って、実を結んで神聖な命を表現するためです――ヨハネ 15:9-10，16-17：

1．「わたしは新しい戒めをあなたがたに与える．互いに愛し合いなさい．わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。あなたがたが互いに愛し合っているなら、これによって、すべての人は、あなたがたがわたしの弟子であることを知るようになる」――13:34-35．参照、Ⅰヨハネ 4:18-19。

2．わたしたちは主を愛するなら、彼で満たされます。そして何であれわたしたちの内側を満たしているものが、わたしたちから出て来ます。主を極みまで愛するこ

とは、わたしたちを資格づけ、成就し、装備して、主を語り出させます――ヨハネ 21:15-17。

D. キリストの中に住むことは、時々刻々わたしたち自身を彼との交わりの中に保つことであって、いかなるものにもわたしたちと彼との間に入らせないことです。召会生活全体は神聖な交わりにかかっています。それは循環する三一の神が彼であるすべてをわたしたちの中へと造り込み、流し、交流し、移し、伝達し、分与して、わたしたちに享受させることです――Ⅰヨハネ 1:3．Ⅱコリント 13:14。

E. 主がわたしたちの中に住むために、わたしたちは彼の言葉をわたしたちの内に住まわせなければなりません。わたしたちが命のために彼に来て、彼の書かれた言葉の中に住むとき、彼の即時的な言葉は霊と命としてわたしたちの中に住みます――ヨハネ 15:7．5:39-40．8:31．6:63。

F. わたしたちはまことのぶどうの木であるキリストの枝として、キリストを生き、キリストを成長させ、キリストを表現し、あらゆる面でキリストを増殖させる必要があります。これが、「主のものにふさわしく歩いて、すべての事で主を喜ばせ、あらゆる善いわざで実を結び、神を知る全き知識によって成長」するということです――コロサイ 1:10。

G. 実を結ぶことは、内なる命の豊富の流れ出です。内なる命の満ちあふれから、流れがあって他の人たちに届き、彼らの命の中へと浸透します。それは、彼らが残る実となって、御父に栄光を得ていただくためです――ヨハネ 15:16。

©2026 Living Stream Ministry